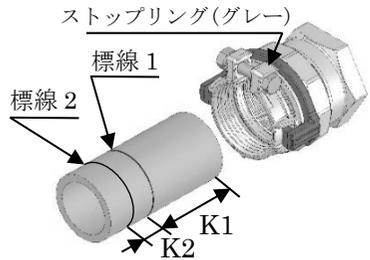


SKX® 施工手順 (ポリエチレン管(PE)用)

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量(K 寸)を測り、**標線を 2 本**記入して下さい。**分解せずにストップリングとキャップが接した状態で標線 1 まで**挿し込んで下さい。



注1) ・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
 ・滑剤の塗布は不要です。
 ・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

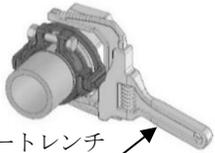
②キャップ仮締め

本体とキャップを十分手締め(素手もしくはスベリ止め付グローブで締まらなくなるまで)した後、マジック等で**マーキング**して下さい。

注2) ・十分な手締め(素手)は 8N・m 程度です。
 ・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度まで締めて下さい。
 ・手袋使用の場合は、スベリ止め付グローブを使用して下さい。

③キャップ本締め

ショートレンチにて**キャップを標準締付回転数(標準締付トルク)**で締め付けて下さい。

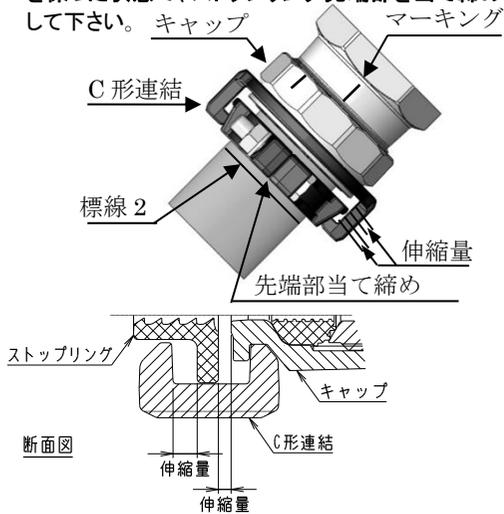


注 3) 低温時やパイプが変形している場合は通常より 1/4 回転増し締めして下さい。

④ストップリング本締め

C形連結を中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置**にして下さい。

ストップリングが 2 本の標線の間かつ両端伸縮量を保った状態で、ストップリング先端部を当て締めして下さい。



注 4) 当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。
 注 5) 管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。
 注 6) 再施工時は再施工手順書に従って下さい。

⑤施工完了・施工手順チェックシートへの記入

ストップリング端面が 2 本の標線の間にあることを確認してください。

キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

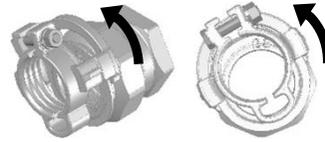
《管の取り外し》

・ストップリングの締付ボルト・ナットとキャップを緩め、**ストップリング締付部を開放工具・開放ナット(呼び径 40・50)で広げる**ことにより、パイプとの**分離可能**です。**(分解不要)**

SKXストップリング (SR) 交換手順

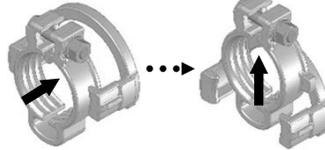
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外す。



②ストップリング取り外し

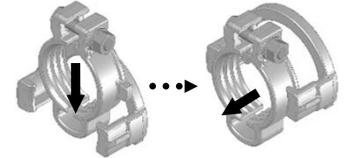
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜く。



③ストップリング交換

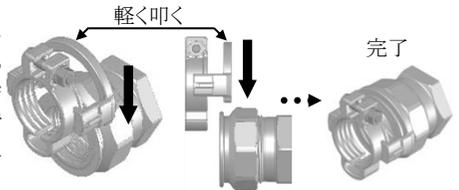
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離す。

※右図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意する。



④C形連結取付

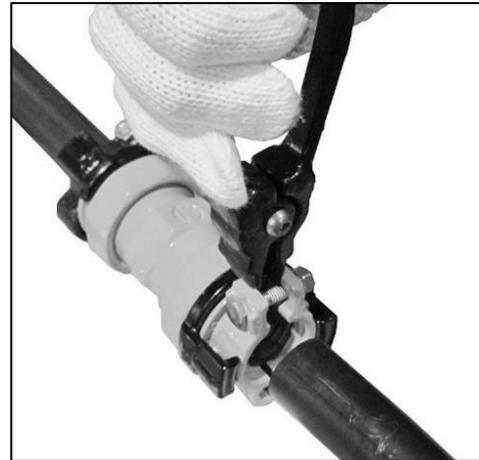
C形連結をキャップの外溝に合わせ、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れ、完了。



パイプ取り外し方法

ストップリングの締付ボルト・ナットとキャップを緩め、ストップリング締付部を開放工具・開放ナット(呼び径40・50)で広げることによりパイプとの分離が可能です。**(分解不要)**

開放工具使用例 (呼び径 10~30)



開放ナット使用例 (呼び径 40・50)



管 呼び径	SR 呼び径 (グレー)	本体 キャップ 呼び径	K (mm)		十分な手締め 後回転数	キャップ 参考締付トルク N・m	ストップリング (参考締付トルク N・m)	六角 対辺
			K1	K2				
10	P10	V13	50	+5 -0	5	1/2~1	(15)	10
13	P13	16						
20	P20	20	55	+10 -0	5	(20)	13	
25	P25	25						
30	P30	32	60	+10 -0	5	(30)	17	
40	P40	40						
50	P50	50	75		5	7/10~1 2/10		

注) パイプエンドの場合、K 寸 (K1) は全呼び径 +5/-0 です。

※太字：下限値

株式会社 川西水道機器 TEL 087-805-0001 (施工コールセンター)
 FAX 087-877-2801